

「水ミチ」調査に高精度・高分解能地温計！ HPTG-1000 1m深地温計

地下水流脈「水ミチ」を簡便に探査する手法として、地表面から深さ1mの地温を測定する地温測定法が用いられています。HPTG-1000 地温計は、「水ミチ」の調査用に開発された極めて高精度・高分解能の地温測定器です。温度センサには、長期安定性に優れた4線式白金測温抵抗体を採用し、ドリフトやノイズ除去回路に加え、独自のアルゴリズムの考案により高分解能を実現しています。また、プローブの外形は、φ12mmですのでボーリングバー等で掘削した小孔径に適用できます。



【特長】

- ・4線式測温抵抗体 (Pt-100) の採用で高精度・高分解能・高速応答及び長期安定性に優れています。
- ・1台のデータロガーで最大15本の温度プローブを接続できます。即ち、各温度プローブの校正係数を15式分メモリでき、接続された温度プローブのID番号を自動識別して地温を測定します。
- ・測定結果は、LCDで直読、また、メモリされますのでPCによりデータ回収できます。
- ・取扱は極めて容易、その上、単2型乾電池4本で50時間以上の測定が可能です。

【仕様】

温度プローブ

温度センサ : 4線式白金測温抵抗体

センサ部外形 : φ3 × 50mm

プローブ部外形 : φ12 × 1200mm

HPTGデータロガー一部

LCD表示 : 2行 × 20文字

測定分解能 : 1/1000°C以下

温度出力レート : 1秒毎

外形寸法 : 200 × 165 × 90

【地下水流脈「水ミチ」の調査研究】

- ・温泉脈の調査研究
- ・農業用土壌の温度管理
- ・堤防の調査等

* 仕様・外観等は、変更することがありますので、ご了承ください。